

新春賀詞交歓会補助金交付要綱

平成22年12月13日制定

平成26年9月22日一部改正

令和4年9月28日一部改正

[総務部秘書課]

(趣旨)

第1条 新春賀詞交歓会(以下「事業」という。)の円滑な運営を図るための郡山商工会議所(以下「会議所」という。)に対する補助金の交付に関しては、この要綱の定めるところによる。

(交付手続)

第2条 補助金の交付の申請、決定等に関する事項その他補助金に係る予算の執行に関する基本的事項については、郡山市補助金等の交付に関する規則(昭和48年郡山市規則第18号。以下「規則」という。)に定めるところによるものとする。

(対象経費及び額)

第3条 補助金の交付対象は、事業費、印刷費、広報費その他の事業の運営に要する経費とし、補助金の額は、予算の範囲内で定めるものとする。

(交付の申請)

第4条 会議所は、補助金の交付を受けようとするときは、規則第4条の規定により、当該交付の申請書に次に掲げる書類を添付して、市長に提出しなければならない。

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) その他市長が必要と認めて指示する書類

(交付の条件)

第5条 規則第6条第1項第4号に規定するその他必要と認める条件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 補助金交付の目的以外に補助金を使用しないこと。
- (2) 補助金に係る帳簿及び証拠書類を整備し、事業が完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保存すること。

(交付対象事業の内容の変更の手続)

第6条 会議所は、事業の内容を変更しようとするときは、規則第9条第1項の規定により、申請するものとする。

2 規則第6条第1項第1号に規定する軽微な変更は、次の各号のいずれにも該当する変更とする。

- (1) 交付対象経費の総額の10分の2に相当する金額以内の変更
- (2) 事業計画の細部の変更であって、補助金額の増額を伴わない変更

(概算払)

第7条 市長は、必要と認めるときは、補助金を概算払の方法により交付することができる。

(実績報告等)

第8条 会議所は、事業が完了したときは、規則第14条の規定により当該完了の日から30日以内に事業の実績報告書(以下「実績報告書」という。)に次に掲げる書類を添付して、市長に提出しなければならない。

- (1) 事業報告書
- (2) 収支決算書
- (3) その他市長が必要と認めて指示する書類

2 会議所は、実績報告書を事業が完了した日の属する年度内に提出できない場合は、事業の完了後直ちに事業完了届を提出した後、実績報告書を提出しなければならない。

(額の確定)

第9条 市長は、前条の規定による実績の報告を受けた場合は、これを審査し、事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、速やかに規則第15条の規定により補助金の交付額の確定の通知を書面により会議所に通知するものとする。ただし、実績に基づく精算額で交付決定した場合及び確定額が交付決定した額と同額である場合は、当該通知を省略する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、平成22年12月13日から施行し、平成22年度以後の年度分の負担金について適用する。

附 則

この要綱は、平成26年9月22日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年9月28日から施行する。